

| 2. 事業の概要と成果 | |
|-------------|--|
| (1) 上位目標 | 上位目標：対象地域の生活環境が改善する。 |
| (2) 事業内容 | <p>本報告期間（2014年3月～7月31日）に以下の活動を実施した。</p> <p>活動1：コミュニティ・グループのメンバーの能力向上</p> <p>対象3地区（アレマン、ラ・ホヤ、フロール・デル・カンポ）で昨年度に形成されたコミュニティ・グループメンバーに対し5月から7月にかけて合計3回の研修を実施した。研修の内容は、事前に同グループメンバーと会合を実施し、そこで把握されたニーズに沿って決定した。平均して青少年約20名、成人17名が参加し、プロジェクト（活動）の実施方法、リーダーシップ、コミュニティ活動における青少年の参加、ジェンダー配慮について学ぶ機会となった。研修受講者からも、これまでコミュニティ活動を実施する上での実践的な研修を受ける機会がなく、今後実際に活動を実施する上で、貴重な知識が得られたとの声が聞かれた。</p> <p>活動2：コミュニティ・グループの活動運営能力養成</p> <p>各地区で毎月コミュニティ・グループ会合を重ね、コミュニティが抱える問題の認識・分析を行い、実施するコミュニティ活動の候補を決定した。健康フェアや清掃活動、街灯設置などの活動が候補となった。最もニーズの高かった健康フェアが各地区の第1回のコミュニティ活動となった。7月には、アレマン地区とフロール・デル・カンポ地区の2地区において、「健康フェア」が実施された。アレマン地区では、国家警察が主催し、アメリカ大使館が支援し、様々な団体が参加する形で開催されたものに、当団体も同地区の地域警察との調整を通じて参加できることとなった。当日は、約8000人が来場する大規模なイベントとなり、コミュニティ・グループメンバーからも青少年20名を含む29名が参加した。また、フロール・デル・カンポ地区では、コミュニティ・グループメンバーが中心となり、地域警察や保健所と連携して実施し、地域住民366名とコミュニティ・グループメンバー11名が参加した。（ラ・ホヤ地区においても8月に実施予定。）こうして活動を計画・実施する中で、コミュニティ・グループメンバーが能力を身につけている。</p> <p>また、コミュニティ・グループ活動実施に際し、テグシガルバ市内の関係機関との協力関係構築を図っており、実際に、健康フェアにおいて「国境なき医師団」や市役所「COMVIDA」などの協力を得て、子供の遊べるスペースを提供したり、健康の啓発のみならず地域の人々が楽しめる機会を提供することができた。</p> <p>活動3. 地域の青少年の育成</p> <p>(1) 青少年リーダーフォローアップ研修</p> <p>昨年度に育成した青少年リーダーに対し、フォローアップ研修を2回実施した。1回目は、グループの運営とチームワークの形成等について行い、55名が参加した。また、2回目の研修では、モチベーションの高め方や感情のコントロールの仕方などをテーマにして行い、48名が参加した。</p> <p>(2) 青少年リーダーによるピア教育</p> <p>上記フォローアップ研修を受講した青少年リーダーが、対象3地区の中高一貫校3校（アレマン地区モンテレイ校、ラ・ホヤ地区ホセ・ピネダ・ゴメス校、フロール・デル・カンポ地区サウル・セラヤ・ヒメネス校）において、他の青少年に対してピアエデュケーション活動（青少年が同年代の青少年に研修を行う活動）を実施した。各校で全5回実施する計画であり、7月末までに1回目（自尊心について）を全3校で実施し、合計259名が参加した。また、2回目（暴力について）はモンテレイ校、サウル・セラヤ・ヒメネス校の2校で実施し、218名が参加した。（ホセ・ピネダ・ゴメス校では8月に実施予定）</p> |
| (3) 達成された効果 | <p>事業目標：対象地域においてコミュニティ・グループと青少年による「住みやすいコミュニティ」づくりを目指す活動の実施体制が強化される。</p> <p>指標1. <u>コミュニティ・グループの8割がコミュニティ活動を実施している。</u></p> <p>3地域で形成された10グループの内、9グループ(9割)が活動を継続している。</p> <p>指標2. <u>青少年リーダーの8割以上が活動を継続している。</u></p> <p>青少年リーダーの50名全員(10割)が活動を継続している。</p> <p>指標3. <u>コミュニティ・グループと地元関係機関との協力体制が構築される。</u></p> <p>コミュニティ・グループと各関係機関との会合を重ねた結果、1. COMVIDA（テグシガルバ市役所青少年事業）2. PASMO（米国国際開発庁、HIV予防・思春期性教育プログラム）3. MSF（国境なき医師団）4. DNJ（国家青少年協会）5. UNAH（ホンジュラス国立自治大学）の5つの団体からコミュニティ活動への支援・協力が得られることとなった。</p> <p>指標4. <u>地域の青少年によるコミュニティ理解が深まる。</u></p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>事業終了時に対象地域の青少年にアンケート調査を行って確認する予定であるが、コミュニティ活動（健康フェア）に参加した青少年からは「地域のために活動することに満足感と誇りを感じた」という声が聞かれている。</p> <p>成果1:コミュニティ・グループメンバーの能力が向上する。</p> <p><u>指標 1-1:コミュニティ・グループメンバーの8割がフォローアップ研修に参加する。</u></p> <p>対象45名のうち32～39名（7～9割）の参加が得られた。</p> <p><u>指標 1-2:コミュニティ・グループメンバーの7割以上が、研修内容に関する知識・能力が向上したと認識する。</u></p> <p>8月にテストを行い、知識・能力の向上を確認する。</p> <p>成果2:コミュニティ・グループが自立発展的に活動を運営していく能力（計画・運営・評価する能力）が養成される。</p> <p><u>指標 2-1:全コミュニティ・グループが「住みやすいコミュニティ」づくり活動計画を策定できる。</u></p> <p>対象3地区全てにおいて5回の活動を策定できた。第1回目のコミュニティ活動として「健康フェア」が実施された。また、8月より2回目以降のコミュニティ活動が実施される予定となっている。</p> <p><u>指標 2-2:コミュニティ・グループメンバーの8割以上が、活動モニタリングに参加する。</u></p> <p><u>指標 2-3:コミュニティ・グループメンバーの7割以上が活動の実施状況及びその成果について把握している。</u></p> <p>上記2つの指標については、10月に対象3地区のコミュニティ・グループメンバーと関係機関の担当者と実施する活動モニタリングの中で、確認する予定である。</p> <p>成果3:地域の青少年が育成される。</p> <p><u>指標 3-1:全青少年リーダーがフォローアップ研修に参加する。</u></p> <p>青少年リーダー50名のうち第1回は55名（追加で5名の希望者も参加）、第2回は48名が参加した。</p> <p><u>指標 3-2:フォローアップ研修参加者の研修理解度が8割を超える。</u></p> <p>11月に予定している第3回フォローアップ研修時に研修理解度テストを実施する予定である。</p> <p><u>指標 3-3:青少年育成活動が計画され、その8割が実施される。</u></p> <p>対象3地区で目標とする5回の育成活動が計画され、現時点で2回が実行された。10月までに全5回が終了する予定である。</p> <p><u>指標 3-4:ピアエデュケーション対象者の8割以上が、内容に関する知識・能力が向上したと認識する</u></p> <p>10月に予定している第5回ピアエデュケーション活動において、対象生徒に知識・能力を測るテストを実施する予定である。</p> |
| (4)今後の見通し | <p>活動1:コミュニティ・グループのメンバーの能力向上</p> <p>コミュニティ・グループメンバーに対する研修を9月に「テグシガルバ市の計画と対象コミュニティ」についての研修を実施する予定である。</p> <p>活動2:コミュニティ・グループの活動運営能力養成</p> <p>8月以降、各地区で計画している地域清掃活動やスポーツ大会等のコミュニティ活動を実施していく予定である。</p> <p>活動3. 地域の青少年の育成</p> <p>青少年リーダーに対するフォローアップ研修を11月に実施するとともに、青少年リーダーによるピアエデュケーション活動を継続して実施する予定である。全5回のうち、3回目「薬物」、4回目「価値観」、5回目「リプロダクティブヘルス」を実施予定。</p> |